

海外スポーツ教育・文化研修を終えて

ジュニアスポーツ教育学科 K.S.

私がこの海外研修に参加した理由は、何度か外国に行ったことはありますが中国に行ったことがなく、自分自身の中で中国のイメージもあまり良くなかったのでこの研修を通して中国の文化などをたくさん学びたいと思ったからです。

最初は交通の面や食事、衛生面に驚きました。交通面では、日本と違って右側通行で赤信号でも右折はできるため歩行者は横断歩道を渡るのも注意して渡らなければいけませんでした。また、自転車やバイクも車道に入ってきて平気で横切るため危険を感じました。食事面でも最初は口に合わなかったり、衛生面でも驚く部分がたくさんありました。日本と違う部分が多くて戸惑いましたが、日本と違うから悪いのではなくこれが中国の文化なのだを教えていただきました。事前に簡単な中国語を学び、上海に行きましたが、現地の人に私たちの言葉は全くと言っていいほど通じず、英語も通じなかったのでコミュニケーションが取れませんでした。でも、ジェスチャーを入れながらなんとかやり取りができました。改めて言葉の大切さがわかり、いろいろな国の言葉をもっと勉強したいと思いました。

講義の中で、中国の学校では一般体育を重視しているのではなく、競技スポーツを重視していて、政策で1日1時間運動しなければならないと決められているので、体育の授業がない場合も必ず1時間運動すると聞きました。また、中国では人口が13億人いる中で障害者は8000万人以上いて、国が障害者専用のスポーツ施設も作っていて、障害を持っている人でも競技スポーツに集中して取り組めるようにしています。日本の学生は、体育の授業や部活動でしか体を動かさない人も多くいるし、部活動をしていない人もたくさんいます。日本とは違って国全体を通して競技スポーツに対する意識が高いし、力を入れているので施設や環境が整っていて、日本との差を実感しました。

今回上海で、スカッシュも体験しました。スカッシュをするための施設もあり、スカッシュでアジア選手権に出場している選手に教えていただきました。初めて体験する私たちにも丁寧に教えてくださり、最後にはゲームを行いました。スカッシュは個人競技のため自分自身でいろいろな作戦を考え相手の動きも見ながら打つので、種目は違うけれど自分の専門競技にも生かせるなと思いました。

この研修を通して、中国と日本の文化の違いをたくさん学ぶことができました。良い悪いではなく、それがその国の文化なのだと思い知らされました。中国だけではなく、いろいろな国の文化も学んでみたいと思いました。また、他大学との交流や留学生との交流をすることでたくさんの刺激を受けることができました。今まで繋がりがなかったけれど、この研修で繋がり、今でも連絡先を交換してたくさんやり取りをしています。中国の小学校、中学校の見学をし、日本とは違った学校の雰囲気や授業の仕方も学ぶことができ、とても良い経験になりました。今回の経験を活かし、これからいろいろなことに挑戦していこうと

思いました。この上海の海外研修で私自身成長出来たと思います。いろんなことに挑戦することは勇気がいりますが、今までの自分より成長できるし、視野も広くなり、考え方も変わりました。将来教師を目指す私にとってこの研修はとてもためになりました。このような素晴らしい研修に参加できとても良かったです。この研修をサポートしてくださった、いろんな方々に感謝しています。ありがとうございました。謝謝。

